

1992年 4月17日 第三種郵便物認可（毎月3回7の日発行）
2023年 7月16日 発行 SSKR 増刊通巻9829号

SSKR まうんてんえこお No.314

社会福祉法人 練馬山彦福祉会

本部

〒177-0034 東京都練馬区富士見台2-19-9
TEL(03)3998-5023 FAX(03)3998-5035
<http://nerimayamabiko-hukushikai.jp/>

山彦作業所（就労継続支援B型）

〒177-0034 東京都練馬区富士見台2-19-9
TEL(03)3998-5023 FAX(03)3998-5035
Email : ymbk@mv1.biglobe.ne.jp

山彦相談支援事業所（相談支援）

〒177-0034 東京都練馬区富士見台2-19-9
TEL&FAX(03)3970-2365
Email : ymbksoudan@xqd.biglobe.ne.jp

やまびこ第二作業所（就労継続支援B型）

〒179-0073 東京都練馬区田柄1-4-30
TEL(03)6904-3411 FAX(03)6904-3413
Email : ymbk2@mue.biglobe.ne.jp

やまびこ第二相談支援事業所（相談支援）

〒179-0073 東京都練馬区田柄1-4-30
TEL&FAX(03)6906-9803
Email : ymbk2-soudan@xvd.biglobe.ne.jp

目次

- 表紙 やまびこ三原荘
- P2 法人本部 事業報告
- P3 山彦作業所 事業報告
- P4 やまびこ第二 事業報告
- P5 ワーク 事業報告
- P6 チャレンジワーク 事業報告
- P7 やまびこ三原荘 事業報告
- P8 相談支援事業所 事業報告
- P9~10 決算報告
- P11 国会請願行動報告
- P12 やまびこのかぜ（山彦）



やまびこ三原荘送別会



グループホームやまびこ三原荘では、4月17日に送別会を行いました。これまで13年間、三原荘の食事作りをしていただいた田中さん。食事作りだけでなく、時には入居者の相談に乗って下さったり、いつも三原荘の入居者に寄り添って頂きました。時にはみんなの母のようであり、時には姉のような存在に誰もがその人柄に支えられました。入居者一人一人が感謝の言葉を伝え、田中さんからもこれまで三原荘で働いてきた思いを伝えて頂きました。別れの寂しさの中にも、笑い、感動、感謝、様々な気持ちが一人一人の心に伝わるものがありました。人は生きていれば出会いや別れを誰もが経験します。小さなホームではありますが人ととの関わりを通じて心が揺さぶられる経験をしていく。そういった人との繋がりをやまびこ三原荘では大切にしていきたいと思います。（青柳）

法人本部 2022年度 事業報告

1 法人全体の動き

22年度は、山彦作業所の建物の買い取り、やまびこ第二作業所の移転があり、法人にとって大きな動きのあった年でした。どちらも何年も協議していた案件で、やっと実現にこぎ着けることが出来ました。

昨年度に引き続き、新型コロナ感染症に影響された一年でもありました。予防対策には万全を期していましたが、法人内各事業所で利用者や職員の感染者が発生しました。事業所を閉める事もなく大変に大きな影響があり、対応に追われることも多くありました。

各施設ではバスレク等の行事や外出企画などの利用者の楽しみにしている活動は大きく制約を受けざるを得ませんでした。また、作業時間の短縮は徐々に回復したものの、工賃額に影響が出てきました。

地域貢献事業として、3月にやまびこ第二作業所の移転先にて、フレドパントリーや開催しました。事業開催にあたっては、利用者・家族・関係者の皆様から多くのご協力を賜りました。当日はあいにくの雨模様でしたが、何とか無事に行

う事が出来ました。

2 重点課題の取り組み

(1) 山彦作業所の建物問題

22年6月に、長年の懸案であった練馬区から建物の買い取りを行いました。買取金額は予想よりも抑えられ、練馬区には感謝しております。

22年12月にはエアコンの入れ替え工事、23年2～3月には屋根や外壁等の修繕を行いました。

(2) やまびこ第二作業所の場所問題

やまびこ第二作業所は、築約50年の建物で老朽化の問題があり、移転を検討していましたが、22年10月、移転を実現することが出来ました。こぶし事業所が移転先で建物を建て、そこをやまびこ第二作業所と春日町はじめのいっぽ（放課後等デイ）の3所で利用することになりました。こぶし事業所はじめ、関係者に心より感謝致します。

(3) 相談支援事業の在り方検討

相談3事業所の将来の事業統合に向け、週1回の会議等での情報交換や合同での

(4) 中長期計画について

6月から各施設1名以上の担当者を選定し、定期的に話し合いを持ちました。22年度は中長期計画の位置づけや検討のすすめ方の確認、法人の理念の検討を行いました。

(5) 人材育成

虐待防止研修は、22年度は対面でのグループ研修を行いました。他施設の職員が集まり、職員の交流の機会ともなりました。

(6) 事業継続計画（BCP）について

コロナ感染や大地震、予期せぬ大災害等々の中でも安定して事業を継続していくよう、各施設で研修を受け継続して検討してきました。

3 理事会、評議員会の開催状況

理事会 年5回
評議員会 年1回

事業所訪問、各事業で使っている書式の確認、練馬区との懇談等を行いました。

★目標の振り返り

①コロナウィルスの流行により活動が制限される中で、改めて働く事や社会参加の大切さを実感しました。その中で工賃支給を通して作業のやりがいや自信を得るという体験を大事にしてきました。また、作業に取り組む、工賃を得る、お金を使ういう流れや、お金の意味を理解してもらうような働きかけを大切に取り組みました。

②個別支援計画策定にあたっては、利用者の夢や希望を聞く時間を増やし、丁寧な聞き取りを心がけました。作業所がより添える事を考え、作業所で寄り添えない事は関係機関と連携し、生活が豊かになつて行く為にできる事を職員みんなで考え、提案しました。コロナウィルス流行が想像より長引き、夢や希望が広がる行事やイベントが少なかつたと感じています。

③利用者と職員、利用者同士、職員同士がコミュニケーションを取りやすい雰囲気作りを意識し、信頼関係の構築に取り組みました。また「魅力ある職場」を目指して利用者の通所意欲の向上に努めできました。

★コロナの状況

コロナウイルス感染防止のため、検温、所内消毒、マスク着用、作業テーブルの配置変更と対策に取り組みました。また東京都と練馬区の検査事業を利用し、職員、利用者の原検査を毎週実施して安心した通所に繋がる

様に対応しました。

7月と8月に所内にて複数人がコロナウイルスに感染。家族、利用者からの希望があり、全體で在宅支援に切り替えました。8月以降は関係者が感染や濃厚接触者に該当する事もありましたが、感染対策をしながら通常開所を継続することが出来ました。

★利用状況

新規入所者	男性1名
退所者	男性2名
利用定員30名	在籍35名
平均年齢37歳	月平均通者数31.4人

★平均工賃

平均工賃
2021年度 11,096円
2022年度 11,199円

平均工賃は、昨年と比べて100円アップしました。

★生活支援

健康診断を8～9月に実施。

給食は1食300円。昨年度に引き続き「お楽しみ給食」を1か月に1回実施し、利用者に好きな献立を選んでもらう取り組みを行いました。

○実施した行事.. 辞令交付式、ミニ納涼祭、

★運営

☆目標の振り返り

- 中止となつた行事.. 練馬区合同運動会、障害者フェスティバル、バスレク、地域交流事業
- 非常災害の対応
- (1)避難訓練。利用者も参加の上、年2回実施
- (2)定期的に消防点検を実施。(電気設備も定期的に点検)
- (3)防災対策。水・簡易飲料・毛布・ラジオ・発電機等を災害時を想定し準備。
- (4)夜間監視業務。総合警備(株)による夜間機械警備(事務所)
- (5)災害時伝言ダイヤルの実施訓練1回
- 会議
- 所内会議、支援会議は支援計画の確認や情報の共有、行事等の支援体制の確認のため必要に応じて実施
- 家族会
- コロナウイルス感染防止の為中止
- 実習生の受け入れ
 - ・練馬特別支援学校2年生：4名
 - ・練馬特別支援学校3年生：2名
 - ・旭出学園専攻科2年生：1名
 - ・一般：1名
- 研修
 - ・ダウン症の特性と支援方法
 - ・てんかん基礎講座
 - ・労務管理のポイント
 - ・サービス管理責任者実践研修
 - ・法人内虐待研修

やまびこ第二作業所 2022年度事業報告

☆利用者状況（2023年3月31日現在）

・在籍者	29名	（男性18名 女性11名）
・平均年齢	50・0歳	
・年齢別内訳	20・30代 6名 40・50代 17名 60・70代 6名	

（時給以外はすべて約）

④高齢の利用者
高齢の利用者が安全に通えるような配慮について話し合っています。高齢になつても、働く活気や雰囲気にふれたいとの思いや工賃等の収入を得ているプライドや喜びが大きいようです。働くことの意味や大切さを考えさせられます。

1・支援について

①移転の影響

幸い、移転が理由で退所した利用者はいませんでした。新施設は利用者にとっては、「少し隠れて落ち着いて休める場所が減った」「休憩室は、作業場との適度な距離感で広めになり良かつた」等の声があり、今後もレイアウトを検討していく

ます。
3事業所が入る施設となり、色々と協力をいたさながら活動ができます。今後も3事業所で協力し合いながら運営していきたいと考えています。

②体調を崩す利用者

この間、体調を崩し通所するのが精いっぱいの状態の人があられました。ストレスのコントロールが難しい方、服薬に拒否感がある方など様々でしたが、地域の関係者と連携しながら、よりよい地域生活を送れるよう支援していきたいです。
③レクリエーション
コロナ禍の中で移転もあり、レクリエーションは実施できませんでした。バスレクはコロナ以降、見送りの状態が続いている。レクなどの楽しい時間を通じて、利用者同士の交流や利用者と職員の距離を縮め、支援に活かしていきたいです。

2・作業について

①主体的に働き、充実感へつながる取り組み

基本的には利用者個々に合わせて作業を組み立てています。職員で担つていた作業を少しずつ利用者だけでもできるよう工夫しています。利用者がもつている力を發揮し、充実感が得られるような取り組みを今後も継続します。

②お互いに協調して作業を行えることを大切にしました

集団・チームとしての役割や自覚が持てるよう、その大きさを伝えながら、声を掛け合う、挨拶やお礼を交わす、分からぬ事は確認することをお願いしてきました。

③週間作業予定を作成して掲示してきました

毎週、曜日・午前・午後、作業種類、内容、全体量、残業の有無等々と、詳細に作成した表を作業所に掲示してきました。多くの利用者が見るようになります。見通しが立つ安心感や、体調管理等にも役立てているようです。職員としても、具体的な計画を立てるよう意識を持つことができました。

④工賃について

作業所移転の影響で1週間ほど通常通りの作業ができませんでしたが、定例の作業に支えられ、協力して行うことができました。

工賃の支給前には会計説明を行い、内訳表を掲示しました。年3回の賞与も予定通り支給しました。また、労働者としての観点から「有給休暇」「残業手当」「休日出勤手当」を継続しています。

（時給以外はすべて約）

・時給	220円（実質389円）
・月の平均工賃額	約7,000円
・月の最高工賃額	約19,000円

・冬季賞与	平均 約59,000円
・夏季賞与	平均 約15,000円
・最高賞与	最高 約18,000円
・最低賞与	最低 約6,000円

⑤1名の方が就労されました

パソコンが得意な利用者が1名在宅ワークで就職しました。就労後に来所した時、在籍時とは違つた活き活きとした表情を見せてくれました。

3・建物移転について

①動き

事業開始	10月1日付け
練馬区長訪問	11月22日
内覧会	11月24日、25日

②利用者と関わる事

移転前後1週間ほどは作業時間を短縮し、利用者と一緒に引っ越しの準備を行いました。引っ越し後初日は、職員が交差点に立ち、多くの利用者が迷わずに来ることができました。また、移転後、喫煙者には携常用灰皿の使用をお願いしています。

ワークショップ石神井 2022年度事業報告

●概要

在籍者（34名）（2023年3月31日現在）

- 入退所状況
 - ・6名入所 3名退所
 - ・入所問い合わせ 33件
 - ・見学者 18名

●2022年度を振り返り

22年度もコロナ禍での事業運営を余儀なくされました。東京都及び練馬区の感染防止対策事業に協力し、職員・利用者とともにそれぞれ抗原検査を定期的に行い、感染防止対策に努めました。

工賃増額を図るために新規で2社と作業を受注する契約を結びました。また、自主製品の売り上げを増やすために、「ねりいち」への出店や「ねりいちポータル」への参加を始め、ねりいちポータルを運営するレインボーワークから自主製品についての取材を受けました。

年度内で利用定員を2名増やし、さらに新規利用者を6名受け入れるなど、練馬にある福祉作業所としての役割を果たすことに努めました。

●2022年度の目標と取り組み

1、利用者の通所目的と生活課題に応える

①コロナ禍における支援

東京都や練馬区の方針に従い感染防止対策の徹底を継続しました。具体的には、利用者職員共に抗原検査事業に協力し、検査期間中は毎週検査をして、感染防止に努めました。

②就職を希望する利用者と就職可能な利用者への支援

今年度就職活動を行った利用者はいませんでした。

③加齢で腰痛などからだの痛みがでている利用者への支援

毎日、体操と『鎌田式かかと落とし』を継続しました。それから、新しい取り組みとして「練馬区健康づくり出張セミナー」に申し込み、講師を招いて練馬いきいき体操体験会を開催しました。

④家族と暮らしている利用者への支援

相談支援事業所と連携して、2名の利用者がそれぞれグループホームのショートステイの体験利用を行いました。

⑤広報活動

2、作業種を増やして、工賃を増やす
自主製品を継続して作成・販売し、店頭販売と区の自主製品販売会に参加し合計63,650円売上げました。
3、新型コロナウイルス感染症対策や大規模震

災に備えたBCCP（事業継続計画）の策定等、リスクマネジメント体制の強化が求められる。

毎月のワーク全体会議で非常時対応や事業運営の見直しについて検討しました。

●運営内容（抜粋）

（1）非常災害時の対応

- ・22年9月1日 総合防災訓練を実施
- ・23年3月31日避難訓練を実施

（2）苦情解決・虐待防止・身体拘束適正化

・苦情解決・虐待防止等に関する書類を利用者の目の届きやすい入り口付近に掲示しました。また、法人の苦情解決・虐待防止・身体拘束適正化委員会に管理者が参加し、虐待防止の取り組みを報告しました。

（3）職員会議

・活動の点検や改善 共有を事業所内で職員会議の他、月に1度、法人の合同職員会議に参加しました。

（4）広報活動

・法人の他事業所と協力して定期的に広報誌の発行しました。

・地域との連携を深めることを目的に、東京都内及び練馬区内の会議に参加しました。

チャレンジワークやまびこ 2022年度事業報告

22年度の振り返り

厚労省の法定雇用率引き上げの方針発表に伴い、企業は雇用対応を加速しています。私たちもその時勢でも、数を求めて就労者をただ輩出するのではなく、本人らしさや働き続けるための支えを大事に考えた支援、そして就労定着の安定を目指してきました。

（就労後半年間の「就労定着率 100%」）

22年度末に就労移行期に集中したこと、2名の内定をいただきましたが、23年度の就労者となっています。職場定着は前々年度の就労者1名が就労後半年間を経過し、無事終了致しました。

事業運営を行う上で利用者の確保や、就労の成果を中心とする報酬体系は常に危うさをはらみ、資金面は依然厳しく、単体での事業運営が困難な状況です。法人からの資金の手立てがあつたことで、運営が継続出来ております。

そうした厳しい財政の中、助成金の活用を試みました。専門性の高みに区内でも有数の職業評価ツールの導入や、デジタル化対応にPC確保など現在2件の助成申請を行っております。ひとりでも多くの方の職業生活がサポート出来るよう事業推進を行っております。ことで、地域社会からの期待と信頼に応えて参ります。

地域社会資源との連携

また地域との連携を深められた1年でした。新たに特別支援学校や盲学校とも繋がりを持ちました。情報交換や学生の体験実習の実施により、互いの支援の可能性が広がったこと、また練馬区の障害者福祉計画（第6期）「就労支援の充実」施策で示されたように就労支援センターとの連携で、ネットワーク構築や利用者支援に関する取組で専門的な力添えをいたしましたこと、これらは事業運営の大きな支えとなっています。

年度内の取組

◇特別支援学校と繋がりの強化

・職場体験実習の新規、受入増

（練馬特別支援学校・旭出学園）

・就労アセスメント新規

（東京学芸大学付属特別支援学校）

・都立盲学校との情報交換

（八王子／文京盲学校）

◇メンバーの就労支援

・就労交流会の再開（3年振り）

・交通費支給

・B型「ワークショッピング石神井」と連携

（模擬就労として販売体験）

就労移行支援の内容

生活支援

・生活相談、体調管理や生活特性、就労準備性について学習や個別表や面談で進捗確認

就職支援

・模擬業務、SST（ソーシャルスキルズトレーニング）、自己理解、適性職種や企業選定の助言、配慮事項の共有、面接同行

就労実習

・職場実習に2名参加

定着支援

・就労して新しい環境を迎えるにあたり職場訪問や必要に応じて相談や助言、会社と連携し長期的な就労に向けてのサポート

22年度 就労実績

●就労者 0名
●職場定着者 1名
(清掃 1名)

利用状況

期末在籍者5名 定員6名
入所3名／退所3名
見学者13名／平均通所者数 3.6

（職業評価ツール及びPC）

・赤い羽根共同募金／池田輝子福祉基金

やまびこ三原荘 2022年度事業報告

入居者の状況

- 新規入居者2名（通過型に2名）。入居前の住居は、精神科病院、アパート一人暮らし。
- 退居者0名。
- 精神科病院への入院は、3名。
- 平均年齢は54・7才。（21年度は54・5才）
- 日中活動は、就労継続支援B型..7名、デイケア..4名、OT..2名、生活支援センター..0名。
- 一般就労..0名、所属なし..4名。

新型コロナウイルス対策

新型コロナウイルス対策として、職員・入居者の検温、手洗い等の徹底、食事サービスとミーティングの小グループ化等を行いました。年度内で入居者のコロナウイルス感染者はありませんでした。

入居者、職員ともに週に1回のPCR検査を実施しました。その他、新型コロナウイルスの感染対策として協議を行い、柔軟に対応しました。

事業の実施状況

1. 生活の安定・向上

- 健康管理等生活支援
金銭管理、服薬指導、服薬確認、外来受診や訪問看護との連携を行いました。必要に応じて買い物への同行、居室の清掃等の支援を行いました。
- 健康診断とそれに合わせた対応
11月～12月に入居者11名実施。その他の入居者は個人で申し込んで受けました。

2. 入居者どうしの良好な関係づくり

- 入居者ミーティング
毎月、最終週の火・木曜日のどちらかに参加するミーティングを実施。新型コロナウイルスの感染対策として、小グループに分けて行いました。
- ユニットミーティング
必要に応じて年に数回行いました。
- 食事会

●家庭との連絡・相談
入居者の生活上で課題対応などで家族との連絡・相談を行いました。

顧問医との相談

月に1回、世話をから入居者の状況を伝えて助言を受けました。緊急事態宣言後はオンラインで状況報告とアドバイスを受けました。

食事サービス

夕食週2回（火・木）、朝食はコロナ対策として中止。利用人数は10～12名。使い捨ての容器を使ってお弁当にして配布。自室での食事としました。

昼食づくり

毎週土曜日に実施していましたが、コロナ対策として昼食づくりは中止。食事サービスとして提供しました。

余暇支援

動画鑑賞、お花見、散歩、外食、買い物への同行などを行いました。

退居への準備、退去者への支援

退居の期限が近くなつた入居者に対し、他の事業所の滞在型や、軽費老人ホーム等の情報提供や関係者とカンファレンスを実施する等の支援をしました。

4月、7月、12月、3月に弁当を注文し、交流室にて小グループで行いました。

3. 住環境の維持・改善

●建物及び敷地内の維持管理
キッキンのシンクが老朽化により水漏れした為、キッキンを丸ごと交換しました。

非常災害時の対応

12月に自動火災報知器と通報装置の点検を行い、合わせて、火災時の避難訓練と消化器訓練も行いました。

運営体制

●苦情解決体制
入居者などからの苦情の申し立てはありませんでした。

研修

- 内容・テーマ（実施機関）
 - ・高齢化に向けた支援・介護保険への移行について（練馬区人材育成・研修センター）
 - ・虐待防止研修「虐待の事例検討」（練馬山彦福祉会）
- 第三者評価
実施。次回は、2025年度に実施予定。

相談支援事業 2022年度事業報告

■山彦相談支援事業所

コロナ発生当初に比べると施設訪問や家庭訪問等の機会は増え、徐々に接触の機会は増えてきています。他方で感染を心配しサービス利用を控えている方もおり、日常生活の制限はまだ見られます。以下の3点について特に力を入れて取り組んできました。

1 モニタリングの実施について

モニタリングは記録の整備を進め、回数も増えました。まだ課題も多く、各関係機関、事業者への報告は不十分なままになっています。モニタリングの時期の把握が不十分な面が見られ反省点としてあげられます。

2 三事業所の連携について

連携の一環として相談員が一緒に施設訪問をし、訪問後の状況を確認するなどの取り組みをすすめました。また、毎週月曜日の朝にZOOMによる打ち合わせを定例化し、週間の予定確認や情報の交換を行つてきました。月2回の会議も定例化、業務の見直しや進め方の確認などを行つています。

3 相談支援事業の今後について

9月に練馬区と懇談を行い統合に向けた実現可能性として三事業所を中心とする事業所と從事する事業所という分類で一体的な設置（運営）が行える可能性が示されました。

問題点として、①経理区分の集中、②兼務事業所の計画相談は不可、③契約のやり直し、④受給者証の変更、⑤B型との兼務条件の精査などがあります。

利点としては①加算が取りやすい、②現行の形態で三職員が一体的に業務に従事できる事などが確認され、引き続いての検討を行つています。

22年度は開所して9年度目でした。ここ3年はコロナの影響もあり相談の業務も対応に追われてきましたが、22年度は少しずつ収束に向かいつつある状況で、今まで控えていたものが「動き出した」年度でもありました。

■やまびこ第二相談支援事業所

22年度は様々な職種の支援者や関係機関と連携しながら利用者の意向に寄り添い、生活の変化に対応しながら必要なサービスや制度に繋げ、環境の調整を図りました。

【具体的な支援状況】

・家族からの自立を目指す方に短期入所の見学と利用の支援を定期的に行い、不安の軽減を図りました。

各事業所の見学設定依頼や、居宅介護の利用の検討等の相談が続いている。それは喜ばしいことなのですが、一気に始まっていることもあり、私のキャパシティでは足りなくなることもしばしばです。

とはいっても、コロナのダメージも大きく、病気になり仕事を失ったご家族の対応や、利用者ご家族の同行通院等々と、動き始めたことに対する対応と同時に、今までのダメージへの対応の両方が重なっている状況です。

・体調不良で家事が困難な方に家事支援を入れ、家事負担を軽減し見守りを強化しました。
・進学や就労を目指す方には自立訓練や就労移行支援の事業者と連携し目標達成に繋げました。

・精神面の調子を崩して入退院を繰り返す方は、病院や地域の支援者と連携して退院後の生活を支えました。

その他、福祉サービス以外の生活上の相談（食生活・金銭管理・体調管理・家庭内のもめ事・恋愛・不安・）も増えています。

【利用者家族への支援】

・親が高齢になり利用者への支援が行き届かないなどを感じています。工夫だけではなくて考え方や管理体制の見直しの必要をかんじています。そのため1人で対応するのではなくて、関係機関との連携やネットワークによって支援できるよう心がけた年度でしたし、台風や大雪の後にあります。

連絡を入れる等と、関係を維持・強化出来るよう工夫してきました。

■ワーケーション 石神井相談支援事業所

22年度は様々な職種の支援者や関係機関と連携しながら利用者の意向に寄り添い、生活の変化に対応しながら必要なサービスや制度に繋げ、環境の調整を図りました。

【具体的な支援状況】

・家族からの自立を目指す方に短期入所の見学と利用の支援を定期的に行い、不安の軽減を図りました。

・体調不良で家事が困難な方に家事支援を入れ、家事負担を軽減し見守りを強化しました。
・進学や就労を目指す方には自立訓練や就労移行支援の事業者と連携し目標達成に繋げました。

・精神面の調子を崩して入退院を繰り返す方は、病院や地域の支援者と連携して退院後の生活を支えました。

その他、福祉サービス以外の生活上の相談（食生活・金銭管理・体調管理・家庭内のもめ事・恋愛・不安・）も増えています。

【利用者家族への支援】

・親が高齢になり利用者への支援が行き届かないなどを感じています。工夫だけではなくて考え方や管理体制の見直しの必要をかんじています。そのため1人で対応するのではなくて、関係機関との連携やネットワークによって支援できるよう心がけた年度でしたし、台風や大雪の後にあります。

1992年 4月17日 第三種郵便物認可（毎月3回7の日発行）
2023年 7月16日 発行 SSKR 増刊通巻9829号

2022年度 練馬山彦福祉会 決算の概況

工賃収支

	合計	本部	山彦作業所	やまびこ 第二	ワーク	やまびこ 三原荘
就労支援事業収入	17,547,429	0	10,894,793	4,355,133	2,297,503	0
受注作業収入	7,013,651		1,621,601	3,241,981	2,150,069	
外勤作業収入	1,875,613		749,721	1,058,808	67,084	
弁当作業・その他収入	8,658,165		8,523,471	54,344	80,350	
就労支援事業支出	17,508,226	0	10,747,224	4,507,413	2,253,589	0
就労支援収支差額	39,203	0	147,569	△ 152,280	43,914	0

事業活動収支

事業活動による収入	216,481,313	1,385,756	68,298,796	45,017,353	54,298,010	47,481,398
訓練等給付費収入(Ｂ型)	120,192,176		57,387,914	29,833,482	32,970,780	
(就労移行)	9,381,547				9,381,547	
(共同生活援助)	19,023,436					19,023,436
支援給付費収入(計画相談)	6,760,816		1,167,648	3,832,124	1,761,044	
利用者負担金収入	6,990,331		2,191,200			4,799,131
補助金事業収入(サービス推進費等補助金等)	52,474,996		7,352,000	11,351,615	10,122,550	23,648,831
寄付金その他の収入	1,658,011	1,385,756	200,034	132	62,089	10,000
事業活動による支出	215,245,291	453,293	71,836,103	43,796,480	55,894,428	43,264,987
人件費支出	154,297,199	192,160	46,754,121	34,869,877	47,512,714	24,968,327
事業費支出	29,400,594		6,801,728	5,740,405	2,090,537	14,767,924
事務費支出	31,468,804	261,133	18,280,254	3,186,198	6,212,483	3,528,736
その他支出(支払利息)	78,694				78,694	
事業活動による収支差額	1,236,022	932,463	△ 3,537,307	1,220,873	△ 1,596,418	4,216,411

その他の収支

施設整備等による収入	1,047,375	0	0	173,385	873,990	0
建築資金借入金 利息補助	71,540				71,540	
施設整備等補助金収入	975,835			173,385	802,450	
施設整備等による支出	9,211,585	0	6,036,250	1,388,885	1,786,450	0
固定資産取得・除却支出	8,227,585		6,036,250	1,388,885	802,450	
建築資金借入金 元金返済	984,000				984,000	
その他の活動による収入	23,966,250	6,000,000	14,966,250	0	3,000,000	0
積立資金取崩収入	3,000,000		3,000,000			
拠点区分間繰入金収入	20,966,250	6,000,000	11,966,250	0	3,000,000	0
その他の活動による支出	20,966,250	14,966,250	3,000,000	0	0	3,000,000
拠点区分間繰入金支出	20,966,250	14,966,250	3,000,000			3,000,000
長期前払費用支出	0				0	
その他の収支差額	△ 5,164,210	△ 8,966,250	5,930,000	△ 1,215,500	2,087,540	△ 3,000,000

当期資金収支差額合計	△ 3,888,985	△ 8,033,787	2,540,262	△ 146,907	535,036	1,216,411
前期末支払資金残高	128,982,390	36,779,094	27,774,344	23,141,660	8,516,665	32,770,627
当期末支払資金残高	125,093,405	28,745,307	30,314,606	22,994,753	9,051,701	33,987,038

山彦作業所とやまびこ第二は就労継続支援B型と相談支援事業所、ワークは就労継続支援B型と相談支援事業所及び就労移行支援事業所の合算の数値となっている。

賃借対照表
2023年3月現在

社会福祉法人 練馬山彦福祉会

資産の部										負債の部				
科 目	合計	本部	山彦作業所	やまびこ三原庄 第二作業所	ワークショップ 石神井	やまびこ三原庄 第三作業所	山彦作業所	本部	合計	本部	山彦作業所	やまびこ 第三作業所	ワークショップ 石神井	やまびこ三原庄 第三作業所
流動資産	142,813,652	30,877,746	37,917,800	26,548,641	12,303,433	35,166,032	流動負債	18,704,247	2,132,439	7,603,194	3,553,888	4,235,732	1,178,994	
現金預金	94,660,413	26,696,783	22,415,197	16,165,245	2,809,553	26,573,635	事業未払金	15,695,620	2,131,779	7,084,978	3,003,980	2,605,792	869,091	
事業未収金	46,275,653	4,180,963	15,413,490	9,904,085	40	9,442,818	7,334,297	1年内返済予定設備資金 預り金	984,000	0	660	0	22,435	2,907
立替金	40													
前払金	1,871,640	0												
仮払金	5,906	0												
固定資産	148,637,754	10,000,000	9,355,789	7,737,052	120,786,517	758,396	固定負債	12,792,000	0	0	0	12,792,000	0	0
基本財産	131,415,079	10,000,000	5,537,293	0	115,877,786	0	設備資金借入金	12,792,000	0	0	0	12,792,000	0	0
建物	92,931,861	0	1,913,817	0	91,018,044	0								
建物附属設備	28,483,218	0	3,623,476	0	24,859,742	0	負債の部合計	31,496,247	2,132,439	7,603,194	3,553,888	17,027,732	1,178,994	
定期預金	10,000,000	10,000,000	0	0	0	0								
その他の固定資産	17,222,675	0	3,818,496	7,737,052	4,908,731	758,396	基本金	14,500,000	0	13,000,000	0	0	0	1,500,000
建物附属設備	34,395	0	0	0	0	0	第3号基本金	14,500,000	0	13,000,000	0	0	0	1,500,000
構築物	2,319,477	0	0	1	2,319,476	0	国庫補助金等特別積立金	97,848,727	0	406,112	211,720	97,224,895	0	0
機械及び装置	1,842,740	0	2	1,167,695	675,043	0	その他の積立金	10,161,465	0	2,311,465	6,350,000	1,500,000	0	0
車輛運搬具	55,216	0	55,210	3	2	120,949	1工賃変動積立金 設備等整備積立金	2,600,000 7,561,465	0	2,100,000	500,000	0	0	0
器具及び備品	1,642,121	0	1,301,819	219,353	0	75,000			0	211,465	5,850,000	1,500,000	0	0
権利	225,000	0	150,000	0	0	0								
ソフトウェア	0	0	0	0	0	0								
工賃変動積立資産	2,600,000	0	2,100,000	500,000	0	0	次期繰越活動増減差額	137,444,967	38,745,307	23,952,818	24,164,085	17,337,323	33,245,434	
設備等整備積立資産	7,561,465	0	211,465	5,850,000	1,500,000	0	次期繰越活動増減差額 (うち当期活動増減差額)	137,444,967 △ 240,585	38,745,307 △ 8,033,787	23,952,818 5,092,450	24,164,085 1,006,238	17,337,323 488,658	33,245,434 1,205,856	
長期前払費用	10,000	0	0	0	10,000	0								
出資金	649,000	0	0	0	0	649,000	純資産の部合計	259,955,159	38,745,307	39,670,395	30,731,805	116,062,218	34,745,434	
その他の固定資産	291,451,406	40,877,746	47,273,589	34,285,693	133,089,950	35,924,428	負債及び純資産の部合計	291,451,406	40,877,746	47,273,589	34,285,693	133,089,950	35,924,428	

きょうされん 第46次 国会請願署名・募金活動にご協力いただきありがとうございました

きょうされん第46次国会請願署名・募金運動にご協力ありがとうございました。6月9日現在で法人内事業所に集まつた署名は2,393筆、募金額は8万8,244円でした。

きょうされん全体として69万1,740筆、募金は2,249万円を超えました。（6月26日現在）

5月25日に行なわれた第46次国会請願行動は、コロナ禍から4年ぶりとなり全国は北海道から沖縄まで300名を超える請願団が国会議員会館に集まりました。国会請願行動に、山彦作業所、やまびこ三原荘から利用者3名、職員2名が参加し、みなさまにご協力頂いた署名を、国会議員へ届けてきました。

当日は全国からたくさんの中間と一緒に皆で分担し、やまびことしては12名の国会議員を訪問して署名を手渡した他、利用者はそれぞれの思いを自分の言葉で伝えてきました。残念ながら今回は、直接国会議員と会う

次回以降も引き続き運動の輪が広がるよう、国会請願署名にご協力をお願いいたします。

（三原荘 青柳）

ことはできなかつたのですが署名は何名かの秘書を通してすべて渡すことができました。

「3回目の国会請願です」

太郎さん



前の42次の国会請願に参加してから3回目の参加です。今回は、議員さんには会えなかつたけれど本當なら作業所の工賃をあげてほしいことや、ボーナスだつて少しでいいからであるようにお願いしかつたです。遠いところは沖縄からも来ていてすごいなあと思いました。一日歩いたのでくたくたになつたけれど次の国会請願にも参加して今度は直接議員さんに署名を渡したいです。

参加者の感想

先日国会請願に行って来ました。議員さんに署名を渡しました。でも結局議員さんの部屋には入れませんでした。でも議員さんの秘書さん美人でした。タイプでした。また国会請願に行ってみたいです。

「3回目の国会請願です」

太郎さん



「国会が初めてでした」

K・Tさん

署名をいっぱい配りました。

（作業所を出発して国会議事堂前まで一時間半掛かりました。食事の日替わりランチ美味しかったです。電車の乗る時3人で写真を撮りました。国会裏しかつたです。

山彦三原荘のみんなと会うのが初めてでした。署名配るのが大変でした。

（三原荘 青柳）

T・Kさん

「議員の秘書さん美人でタイプでした」



「国会が初めてでした」

K・Tさん

署名をいっぱい配りました。

（作業所を出発して国会議事堂前まで一時間半掛かりました。食事の日替わりランチ美味しかったです。電車の乗る時3人で写真を撮りました。国会裏しかつたです。

山彦三原荘のみんなと会うのが初めてでした。署名配るのが大変でした。

やまびこのかぜ

夏の草むしり



山彦作業所の公園清掃で夏の草むしりが始まりました。蒸し暑くなり汗だくで作業をしています。

草むしる時は鎌で草の根っこから刈り取り、根っこについた土をふるい落とし、「ゴミ袋に入れていきます。雨あがりの日は土から巨大ミミズが堀り出されて大騒ぎになつたり、作業はゆっくりですが、確実に進めていきます。

メンバーに草むしりの大変など



Mさん
「鎌を使うことが、すこし怖くて大変。雨の日はミミズが、たくさんいて、大変です。草を取り忘れないように端から草を取るように工夫しています。」



Kさん
「ミミズが出て大変だった。鎌を使うことが大変でした。草を取つた時はふるいにかけて土を落とします。（阿久津）



Kさん
「ミミズが出て大変だった。鎌を使うことが大変でした。草を取つた時はふるいにかけて土を落とします。」

メンバーにとつてミミズが難敵だったということ、それぞれ工夫して作業していることが分かります。今後に活かしていきたいです。（阿久津）

きれいになつた！



除草後



除草前

新型コロナウイルスの感染拡大防止と皆様の健康と安全を第一に考え、誠に残念ではございますが、昨年度に引き続き今年度もやまびこ3所のバザーを中止することといたしました。

楽しみにしていただいている地域の皆様、ご協力いただいているボランティアの皆様、本当に申し訳ございません。

来年以降、また皆様とともにバザーを開催できることを楽しみにしております。その際には、変わらずご参加いただけますよう、よろしくお願ひいたします。

編集人

社会福祉法人練馬山彦福祉会
東京都練馬区富士見台
TEL(03)3998-5023

発行人

障害者定期刊行物協会
東京都世田谷区祖師谷
3-1-17
ヴェルドゥーラ102号室

編集委員より
今号事業報告の内容は法人ホー
ムページの各事業所の年度内の状況や
想いは記載されています。掲載の完全版から編集して
あります。お時間ありましたら法人ホー
ムページをご覧いただけます。（伊東）

バザー中止のお知らせ